

| | |
|---|---|
| 開講科目名 Course | 租税法研究演習 2 年（服部先生） / Seminar on Tax Law |
| 時間割コード Course Code | 18008 |
| 開講所属 Course Offered by | 法学研究科修士課程 / |
| 開始年度・学期 Start Year・Semester | 2022年度 / Academic Year 前期 |
| 曜限 Day, Period | 土 / Sat 1 |
| 開講区分 semester offered | 通年 / . |
| 単位数 Credits | 4.0 |
| 学年 Year | 2,3,4 |
| 主担当教員 Main Instructor | 服部 由美 |
| 科目区分 Course Group | 研究演習科目 |
| 教室 Classroom | 4 2 演習室 |
| 講義形式 Lecture Style | 演習科目 |
| 担当教員名 Instructor （担当教員所属名 Affiliation） | 服部 由美（法学研究科修士課程） |
| 授業の目標 | 修士論文の完成を目標とする。 |
| 授業の概要 | 受講生各自が書いた修士論文を基に、受講生同士が検討を加え、討論を行うことを原則とする。 |
| 評価方法 | 出席及び授業への参加姿勢、貢献度等を総合的に勘案して評価する。 |
| 教員の指導に従わない以外の事由 による失格基準 | 特になし。 |
| 授業計画 | 前期は初稿の完成をめざす。 後期は初稿を最終稿に仕上げることをめざす。 |
| テキスト | 特になし。 |
| 参考書 | 金子宏「租税法第24版」（2021年・弘文堂） |
| アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等 | 含む |
| アクティブラーニング、ディスカ ッション、実習等の内容 | 上記の通り、受講生同士の検討、討議を予定している。 |
| 実務経験のある担当教員による授 業 | 該当しない |
| 担当教員の実務経験を活かした授 業の内容 | |
| 質問への対応方法 | ゼミ中での質疑を原則とし、キントンで補う。 |
| フィードバックの方法 | キントンでおこなう。 |
| 予習・復習等、準備学習の内容及 び時間 | 週10時間以上。 |
| 使用言語 | 日本語 |
| SDGs 17の目標（1～10） | |
| SDGs 17の目標（11～17） | |
| PROGリテラシーの要素 | |
| PROGコンピテンシーの要素 | |